

表 タイ総選挙(2023年5月14日):主な政党と首相候補、政策

政党名	タイ貢献党(プアタイ)	国民国家の力党(パラン・プラチャート) ※与党	タイ誇り党(プムジャイ・タイ) ※与党
議員数(注)	133名	100名	65名
首相候補・幹部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペートンターン・シナワトラ氏(タクシン・チナワット元首相の次女)</li> <li>・セター・タビシン氏(住宅開発大手サンシリ社長)</li> <li>・チャイカセム・ニティシリ氏(元法務相)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラウィット・ウォンスワン現副首相</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アヌティン・チャーノンウィラクン現副首相兼保健相</li> </ul>
主な政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低賃金の5年以内の引き上げ[日給600バーツ(2,400円、1バーツ=約4円)、大卒は月給2万5,000バーツ]</li> <li>・1回の外来・入院につき30バーツの自己負担で受診できる「30バーツ医療制度」の拡大(市民IDカードだけで全国利用可能なように改善)</li> <li>・石油価格や公共料金の引き下げに向けた新たな取引ルートや施策の探求</li> <li>・デジタル通貨(1万バーツ相当)の配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉カード(低所得者給付)の給付額の引き上げ(月額700バーツ)</li> <li>・200万の低所得者向けに、未利用土地を住宅・農地目的として再分配</li> <li>・ディーゼル小売価格の引き下げ</li> <li>・児童扶養手当の支給(新生児～6歳)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大麻の使用にかかる適切な規制法案の推進</li> <li>・すべての地区での腎臓透析治療とすべての都県でのがん放射線治療の無料化</li> <li>・消費者金融の返済猶予(3年間)</li> <li>・屋根置きソーラーパネルの無償提供</li> <li>・電気料金の引き下げ(月額450バーツ分)</li> </ul>
URL	<a href="https://ptp.or.th/">https://ptp.or.th/</a>	<a href="https://pprp.or.th/">https://pprp.or.th/</a>	<a href="https://bhumjaithai.com/">https://bhumjaithai.com/</a>

政党名	民主党(デモクラット) ※与党	タイ前進党(ムーブ・フォワード)	タイ国家開発党(チャート・タイ・パタナ) ※与党
議員数(注)	51名	51名	12名
首相候補・幹部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュリン・ラクサナウイシット副首相兼商務相</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピタ・リムジャラーンラット氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワラウト・シラパアーチャー天然資源・環境相</li> </ul>
主な政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物価格保証の継続</li> <li>・農家1軒あたり3万バーツの支給</li> <li>・大学の学部教育の無償化(労働市場の需要が高い学問分野)</li> <li>・学校給食における牛乳の無償化(1年365日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年の最低賃金の引き上げ(日給450バーツを起点)</li> <li>・すべての都県での知事選挙の実施</li> <li>・福祉国家政策の拡大(新生児から年金受給者まで新たな給付を受給できる)</li> <li>・学校とカリキュラムの改革</li> <li>・徴兵制の廃止など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイでのカーボン・クレジット制度の導入</li> <li>・(バンハーン・シラパアーチャー元首相の)「バンハーン・モデル」に従った憲法の改正</li> <li>・年金受給者と障がい者への月額3,000バーツの給付</li> </ul>
URL	<a href="https://www.democrat.or.th/">https://www.democrat.or.th/</a>	<a href="https://www.moveforwardparty.org/">https://www.moveforwardparty.org/</a>	<a href="https://www.chartthaipattana.or.th/">https://www.chartthaipattana.or.th/</a>

政党名	国家開発・KLA(チャート・パタナ・クラ)党 ※与党	タイ統一党(ルアムタイ・サンチャート) ※新党	国家建設党(タイ・サーン・タイ) ※新党
議員数(注)	4名	—	—
首相候補・幹部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スワット・リプタパンロップ氏</li> <li>・ゴーン・チャティカワニット氏(元財務相)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラユット・チャンオーチャー現首相</li> <li>・ピラパン・サーリーラッタウィパーク氏(元法務相)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スダラット・ゲユラパン氏(元保健相)</li> <li>・スパン・モンゴンストリー氏[元タイ工業連盟(FTI)会長]</li> <li>・シター・ティワラー氏(元タイ愛国党幹部)</li> </ul>
主な政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な新経済戦略による歳入の拡大(5兆バーツ)</li> <li>・信用情報機関のブラックリスト制度を廃止し、より融資を受けやすくするクレジット・スコアリング・システムに切り替え</li> <li>・所得税の減税(月収4万バーツ以下は免税)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉カード(低所得者給付)の給付額の引き上げ(200バーツから1,000バーツへ)</li> <li>・個人消費刺激策「コン・ラ・クルン」などの継続</li> <li>・各地区に100人の職業訓練奨学金を支給</li> <li>・穀物価格を支える基金の設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(ほかの給付金を受けていない)失業中の高齢者への3,000バーツの年金支給</li> <li>・年収30万バーツ以下の国民の所得税免除</li> <li>・新型コロナウイルスからの回復を後押しするため、中小企業の法人税免除(3年間)</li> </ul>
URL	<a href="https://www.chartpattanakla.org/">https://www.chartpattanakla.org/</a>	<a href="https://unitedthaination.or.th/">https://unitedthaination.or.th/</a>	<a href="https://thaisangthai.org/">https://thaisangthai.org/</a>

(注)2023年3月末時点(タイ選挙委員会)  
(出所)ジェトロ調べ